記入例

R4.4 更新

許諾書

令和　　年　　月　　日

東京大学附属図書館長　殿

（ふりがな）
氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

直筆署名が必要です。

ｱﾙﾌｧﾍﾞｯﾄ氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署）

所属（専攻/コースまで記入）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

研究科名及び専攻/コース名まで記入してください。

学籍番号（課程博士のみ）：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連絡先（修了後も連絡をとれるもの）

Tel：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　E-mail：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

種別	□課程博士　　□論文博士　正しい方にレをつけてください。
論文題目 ※論文目録の記載と同じにしてください。 ※論文題目が外国語の場合には、和訳を括弧書きで付けてください。	論文目録に記載のものと同じものを記入してください。
インターネット公表可否 [　　]のいずれかに○をつけてください。	（全文公表） [　　]に記載された博士論文は、当大学が設置する「学位授与日から最長５年間インターネット公表しないこと」を選択した場合を除って、上 れている 場合は、 るため、 定） 「博士論 定」に該 効的に上 公表可能日　：＿＿＿＿年＿＿月＿＿日 （学位授与日から最長５年）←研究科で定めた年数を記入（最大５年）
指導教員の確認 (論文博士の場合は紹介教員、又は主査)	教員氏名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（自署） 指導教員の先生に直筆署名をいただいてください。

（全文公表）
（特例による公表）あるいは
（特例による公表・単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定）
の［　　］に「○」を付してください。

（特例による公表）あるいは
（特例による公表・単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定）
の［　　］に「○」を付した場合、
[一部除外・要約・書誌情報]のいずれかに「○」付してください。
（複数選択可。）

（特例による公表・単行本もしくは雑誌掲載等の形で刊行される予定）
の［　　］に「○」を付した場合、
公表可能日を空欄のままにしておくことで、学位授与日から５年後の日が
公表可能日となります。

※ 別紙「博士論文のインターネット公表に関する確認票」を参照。

以下、職員記入欄

学位記番号：博　　第　　号	学位授与年月日：令和　　年　　月　　日
報告番号：甲 / 乙 第　　号	公開年月日：令和　　年　　月　　日

学位記番号、学位授与年月日は研究科において記入する。
報告番号は本部学務課において記入する。
公開年月日は、附属図書館において記入する。